

# 一隅を照らす

No.7 令和5年11月 1日(水)発行

上尾市立原市中学校長 洞派 英樹

TEL 048-721-0636

学校HPは「原市中学校」→検索

学校教育目標 自ら学び考える生徒 心豊かでたくましい生徒 心身ともに健康な生徒

## 「江戸しぐさ」から学ぶ ～挨拶の大切さ～

校長 洞派 英樹

江戸しぐさの由来は諸説あるようですが、学校だより11月号では、江戸仕草流の挨拶について3つ紹介したいと思います。

江戸しぐさ流のあいさつは「あかるく」「いつも自分から」「先に一言」「つけ加えて」をするのが基本だそうです。これは、江戸時代の商人たちが身につけていた処世術からきているもので、商人（あきんど）しぐさ・繁盛しぐさと呼ばれていました。また、現在は「しぐさ」を漢字で書くと「仕草」となりますが、江戸しぐさでは、「思草」と書くのだそうです。「思」は思いを、「草」は行動を表し、「思いやりの心を目に見えるしぐさで表す」ことが大切であるということでした。中でも、「目つき」「表情」「ものの言い方」「身のこなし」を重要視していたようです。

紹介する一つ目は「傘かしげ」。狭い道で傘をさしたまますれ違うときによけるしぐさでした。ここには、「相手の体に雨や傘からの水が垂れない様に」という心遣いや、すれ違いざまに軽く目を合わせ、微笑むことで、「会釈の眼差しを向ける」という思いが含まれています。二つ目は、「こぶし腰浮かせ」というもので、乗り合いの渡し船で席をつめるしぐさです。これは、席を立てつめると船がバランスを崩してしまうため、こぶし一つ分腰を浮かせて席をつめるというものでした。何より大切なのは、人が乗ってきたときにすつつめられるような「気づき」ということでした。最後は「うかつあやまり」というもので、混み合っているところで、誤って相手の足を踏んでしまった時にするしぐさです。踏んでしまった方が「失礼しました。」というのは当然ですが、踏まれた方も「こちらも踏んでしまうような所に足を置いてしまい、うかつでした。」と謝るというものでした。ここには、「お互いヒートアップしてしまうのではなく、むやみな争いやトラブルを避ける」という思いが込められています。どのしぐさにも大切さを感じていますが、特に「うかつあやまり」は、現代の生活にぴったりだと感じています。


原市中学校の生徒はよく挨拶をしてくれます。TPOに応じて、大きな声で挨拶であったり、会釈をしてくれたり。挨拶はとても大切な行為です。挨拶をすることでコミュニケーションを取ったり、挨拶に一言つけ加えるだけで優しい言葉になったり、心温まる言葉になったりします。

何気ない挨拶ですが今一度「挨拶」を見直して、挨拶あふれる原市中、そして原市地区にしていきたいと考えています。

### 感謝状～地域の方より～

先日、原市地区に在住の方から感謝状をいただきました。気分が悪くなり道で倒れてしまっているとき原中生女子2人に助けをもらい、救急車を要請していただきとても助かった、とのことでした。2人はいち早く声をかけてくれ、素早い行動で救急車を呼んだそうです。この2人の生徒の勇気ある行動は素晴らしいことです。原市地区で育った生徒が、原市地区に貢献できたことが素晴らしいです。どんな状況下であっても勇気ある行動を。ぜひ心がけてみてください。

**11月の予定表** ※変更の可能性あります。予め御了承ください。

日	曜	主な行事予定等	備考	給食	部活動	清掃
				○×	○×	○×
1	水	学校公開		○	×	○
2	木	合唱コンクール(文化センター)		×	×	×
3	金	文化の日				
4	土					
5	日					
6	月				○	○
7	火	⑤⑥生徒会役員立会演説・選挙		○	○	×
8	水	道徳朝会 三者面談(4時間) 水①②⑤⑥	給食→清掃→帰りの会	○	○	○
9	木	三者面談(4時間) 木③④⑤⑥ 第9回原市寺子屋		○	×	×
10	金	三者面談(4時間) 金①②⑤⑥	給食→清掃→帰りの会	○	○	○
11	土					
12	日					
13	月	三者面談(4時間)月①②③④		○	○	×
14	火	県民の日				
15	水	全校朝会(生徒会任命式) 三者面談(4時間)火③④⑤⑥ やちぐさ学級東側5校交流会	給食→清掃→帰りの会	○	○	○
16	木	専門委員会 尿検査1次(1日目)		○	×	×
17	金	3年生期末テスト1日目 尿検査1次(2日目)		○	○	○
18	土					
19	日					
20	月	3年生期末テスト2日目		○	○	○
21	火	市内音楽会 ふれあいデー テスト前部活動休止～28日		○	×	○
22	水	県小中学校音楽会南部・北地区大会		○	×	○
23	木	勤労感謝の日		○	×	○
24	金			○	×	○
25	土				×	
26	日				×	
27	月			○	×	○
28	火	1、2年生期末テスト1日目 5時間 3年生学年内授業	PTAあいさつ運動	○	×	×
29	水	1、2年生期末テスト2日目 2時間 中央委員会 3年生学年内授業 2時間 水③④⑤ 尿検査2次	PTAあいさつ運動	○	○	○
30	木	2年生中学生社会体験チャレンジ1日目		○	×	×

## 11月は「いじめ撲滅強調月間」です

いじめられた子供には心身に深刻な被害が生じることがあります。いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。埼玉県では、11月を「いじめ撲滅強調月間」と定め、いじめ問題の根絶に取り組んでいます。いじめを受けていたり、いじめに気が付いたりしたら一人で悩まず相談・通報してください。以下相談窓口等

<p>○よい子の電話教育相談（埼玉県立総合教育センター）</p> <p>【相談内容 いじめ、不登校、学校生活】 18歳以下の子供用（無料）#7300 又は 0120-86-3192 保護者用 048-556-0874 （毎日24時間）Eメール相談 soudan@spec.ed.jp ※Eメール相談の受信確認及び返信は、平日9時から17時の時間帯に行っています。</p>
<p>○いじめ通報窓口（埼玉県教育委員会）</p> <p>【通報内容 いじめに関すること】</p> <p><a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html</a> ※この窓口は「いじめ」についての情報提供を受けることが目的であり、相談に対する返信は行いません。 ※通報された情報は学校に提供します。学校はあなたが送信したことがわからないように調査・対応します。</p> 
<p>○埼玉県警察少年サポートセンター</p> <p>【相談内容 非行やいじめ、犯罪被害等の少年問題に関する心理面の相談（カウンセリング等）】 （月～金／祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） 048-861-1152 「少年用・ヤングテレホンコーナー」 048-865-4152 「保護者等用」 ※面接相談は要予約</p>
<p>○子どもスマイルネット</p> <p>【相談内容 いじめなど子供に関するあらゆる相談（本人・保護者等からの相談）】 （毎日／祝日・年末年始を除く 10時30分～18時00分） 048-822-7007</p>
<p>○社会福祉法人 埼玉いのちの電話</p> <p>【相談内容 どんなことでも】 048-645-4343（365日24時間） 0120-783-556 フリーダイヤル（毎月10日8時～翌日8時）と （土・日・祝日・年末年始を除く毎日16時～21時） 0570-783-556 ナビダイヤル（毎日10時～22時） インターネット相談 埼玉いのちの電話ホームページからアクセス</p> 
<p>○特定非営利活動法人 さいたまチャイルドライン</p> <p>【相談内容 どんなことでも】18歳以下の子供専用（無料） 電話 0120-99-7777（毎日16時～21時） オンラインチャット <a href="https://childline.or.jp/">https://childline.or.jp/</a>（水～土 16時～21時）</p>
<p>○埼玉県こころの電話（埼玉県立精神保健福祉センター）</p> <p>【相談内容 心の健康の相談】 （平日／土・日・祝日・年末年始を除く 9時～17時）048-723-1447</p>
<p>○埼玉県 SNS 相談 こころのサポート@埼玉</p> <p>【相談内容 こころに関する相談内容を何でも（LINEで心理カウンセラーへ相談）】 （日曜日21時～翌6時・月曜日21時～翌1時 受付は終了30分前まで） <a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/suicide/sns.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/suicide/sns.html</a></p> 
<p>○こどもの人権110番（さいたま地方法務局）</p> <p>【相談内容 こどもの人権】 （平日／祝日・年末年始を除く 8時30分～17時15分） （無料）0120-007-110</p>
<p>◇こどもの人権SOS-eメール <a href="https://www.jinken.go.jp/kodomo">https://www.jinken.go.jp/kodomo</a></p>